

## 令和4年度 第6回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年1月10日(火) 午後3時～5時00分
- 2 方 法 会場(A P横浜)とオンライン(Zoom)による会議
- 3 出席者 理事15名、監事2名、顧問2名  
(うち理事11名、監事2名、顧問1名はオンライン参加)
- 4 進 行 議長(会長)
  
- 5 協議事項
  - (1) 令和5年度当初予算(案)について  
事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、臨時職員雇用費の増、弁護士顧問料、60周年記念事業など案のとおり計上することとし、病床数の変更等を反映した修正版を次回理事会で審議することとなった。
  - (2) 各種委員の推薦について  
「横浜市こころの健康相談センター嘱託医師(判定業務)」は、協議の結果、引き続き佐伯理事を推薦することとし、他の医師については調整していくこととなった。  
「川崎市総合リハビリテーション推進センター精神保健福祉判定医」は、協議の結果、引き続き、武田理事、長谷川吉生監事を推薦することとし、他の医師については調整していくこととなった。  
「神奈川県救急搬送受入協議会委員」は、協議の結果、引き続き山口副会長を推薦することとなった。  
「平塚市いじめ問題対策調査会」は、協議の結果、引き続き大野副会長を推薦することとなった。
  - (3) 協会創立60周年記念事業について  
事務局より資料3について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典は、協会設立日に合わせて、11月15日(水)に開催することとし、会場は、横浜ベイホテル東急と横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズに見積もり提案を依頼することとなった。記念式典の記念講演者、祝賀会スピーチについては次回理事会で協議することとなった。また、60周年記念誌については、編集担当委員(山口副会長、大滝理事、武田理事、長谷川剛理事、馬場理事、佐伯理事、山田理事、長谷川吉生監事)が内容について検討を行うこととなった。
  - (4) 第2回定期総会について  
事務局より資料4について説明を行い、協議を行った結果、会場(横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ)で総会を行い、懇談会については食事の提供をせずに行うこととなった。
  - (5) その他  
・坂井理事より精神科救急輪番日において、受入病床にコロナ患者が居た場合の対応について確認があり、別の保護室で受け入れるなどの話があった。また、坂井理事より事務局からの空床状況メールを活用していきたい旨の話があった。
  
- 6 報告事項
  - (1) 日精協報告について  
資料のとおり、臨時社員総会、関東地区協議会の開催について、また精神保健福祉法等の改正内容について、大野副会長より説明された。精神保健福祉法の改正内容については、行政からの情報も含めて事務局より会員あてに周知することとなった。
  - (2) 会員病院の届出事項変更について  
資料のとおり、曾我病院より病床数の変更があったことについて報告された。
  - (3) 精神科救急に関する行政との打合せについて  
資料のとおり、12月27日(火)に会長、副会長と行政で行った打合せ結果及び精神科コロナ患者の入院調整に係る事務連絡について報告された。会長からは、年度が変わった段階で行政と基幹病院で協議する場を設けたい旨の話があった。

(4) 各種会議について

「令和4年度第2回神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会」は、増田理事より報告された。

「かながわ自殺対策会議」は、記者発表資料の配布があった。

「令和4年度第1回神奈川県ギャンブル等依存症対策推進協議会」は、書面開催の資料配布があった。

「令和4年度第2回神奈川県いじめ問題対策連絡協議会」は、大滝理事が欠席で他の出席者も居ないため欠席とし、取組成果と課題については調整することとなった。

(5) 第5回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

(6) その他

・精神医療審査会における入院届等様式の記載については、行政に依頼文書を送付したことが報告された。

・弁護士会や弁護士からの依頼事案の調査については、資料のとおり報告され、特に動きはないので、神奈川県弁護士会から今後依頼があれば話を聞くこととなった。

・次回理事会は、2月14日(火)に開催することとなった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後5時00分理事会の閉会を告げた。